

**福井型アプレントイス地域共創リカレント教育推進事業**  
**「産学官金連携による「ふくい型アプレントイス」プログラム（企業 IT 人材養成）」に係る Q&A**

**1. 申請区分等**

(Q1)

受講者募集要項の「3. 受講申込区分」について、(1) 失業者、(2) 非正規雇用労働者、(3) 希望する就職ができていない若者、転職希望者等のいずれかの区分に該当していれば、その理由は問わないのか。

(A1)

例えば、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う社会経済の悪化や就職先の業績悪化などによる雇用環境の変化が理由として考えられますが、それ以外の理由であっても結構です。理由については、受講申込理由書に簡潔に記載してください。

(Q2)

年齢、国籍など、申込資格に制限はあるのか。

(A2)

特段の制限は設けません。本プログラムでは、就業意欲のある方を募集しています。受講者募集要項に記載のとおり、講義で使用する言語は基本的に日本語であること等に十分留意の上、申請の可否をご判断ください。

**2. 選考方法等**

(Q3)

受講申込者数が募集人員の30名に満たない場合でも選考（面接）は行うのか。

(A3)

本プログラムでは、就業意欲のある方を募集していますので、選考を行います。

(Q4)

募集人員の30名を超えて受講生を受け入れる可能性はあるのか。

(A4)

できるだけ多くの受講者が本プログラムを修了し就業することを目指しており、質の高い教育を保証する上で、30名を上限としています。

(Q5)

どのような基準で選考するのか。

(A5)

受講者学生募集要項に記載のとおり、申込書類と面接により、申込理由を踏まえつつ、意欲・資質等を確認した上で受講の可否を決定します。

(Q6)

やむを得ない事情により選考を欠席しなければならなくなった場合、追加の選考は行うのか。

(A6)

やむを得ない事情によると認められる場合は、追加選考等を検討します。

### 3. プログラム内容、就職先等

(Q7)

プログラムの修了要件は。

(A7)

コア科目（必修32時間）、スキル養成科目（必修32時間、選択必修32時間以上）、アプレンティス科目（必修32時間（サイバーセキュリティコースまたはシステム開発コース）、就業体験等24時間以上（地域企業へのインターンシップまたは企業視察、実証型の事業化可能性調査）、合計152時間以上履修することを要件とします。各授業科目では、一定水準以上の課題等の提出を義務付けるとともに、就業体験等の成果発表にて審査に合格しなければなりません。

(Q8)

現在就職しており、時間的にプログラムの受講が可能か心配である。

(A8)

失業者のほか、転職希望者等も受講者として想定しており、金曜日午後、土、日曜日を中心に授業を開講することとしています。金曜日午後はクラス分けによる配置のため、金曜日午後に用務のある方は、金曜日夜、土、日曜日と、「企業インターンシップ」または「事業化可能性調査」のみで修了することも可能です。また、オンラインコンテンツによる補講や講義アシスタント（学生）の配置、短期集中科目の配置等、社会人が受講しやすい工夫を行っています。ご自身の勤務形態も考慮した上で前向きにご検討ください。

(Q9)

プログラムは、かなり高度な内容のように思われ、最後まで他の受講者についていけるのか自信がない。受講者に対する支援体制はどのようになっているのか。

(A9)

少人数クラス分けによるメンター制や習得段階別の少人数制を授業に取り入れ

ています。また、授業時間外でも自習ができるように補習用オンラインコンテンツを用意します。さらに、情報リテラシーに関する講義アシスタント(本学学生)を配置します。一般的に、情報技能に関する習熟度が高ければ当プログラムの履修も容易になると考えられますが、上記のように受講生一人一人にきめ細かく寄り添った支援を行うこととしていますので、情報技能にあまり自信がない場合でも、安心して前向きに取り組んでいただくよう期待しています。

(Q10)

やむを得ない事情により授業を欠席する場合はどうしたらいいか。また、欠席回数によってはプログラムを修了できないこともあるのか。

(A10)

**【プログラム履修上の留意点】**

病気、けが、親族の葬儀等、やむを得ない理由により欠席する場合は、事前に福井大学地域連携推進課 (TEL:0776-27-9760、メール：[rcp@ad.u-fukui.ac.jp](mailto:rcp@ad.u-fukui.ac.jp))へ速やかに(なるべく事前に)連絡し指示を受けてください。一つの授業科目をどの程度欠席すると不合格とするかの明確な基準はありませんが、授業科目毎に一定水準以上の課題等の提出を課すこと、また、全体で152時間以上の履修が必要になること等に留意し、授業に臨んでください。

**【職業訓練受講給付金の受給上の留意点】**

国の求職者支援制度における職業訓練受講給付金の受給を希望する受講者については、欠席する理由が、あらかじめハローワークが定めた「やむを得ない理由」に該当しない場合は給付金が不支給となること、また、「やむを得ない理由」に該当する場合にはその事実を確認できる証明書類をハローワークに提出する必要があることとともに、当該理由による場合でも一定以上の出席率がないと不支給となるため、欠席する場合は事前にハローワークに相談してください。

(Q11)

インターンシップ先はどのように決定されるのか。また、就職先はこの事業・プログラムの趣旨・目的(地域への定着を図り、地域共創に寄与する)から県内企業に限定されるのか。

(A11)

インターンシップ先は、本学が募集した県内を中心とした受入れ可能な企業等と面談等を行った上で、決定していただきます。就職先も、インターンシップ先等、県内を中心とした企業等を想定しています。

(Q12)

このプログラムを修了すると、なにか資格はとれるのか。

(A1 2)

本プログラムは、受講者募集要項「1. プログラムの趣旨・目的」に記載のとおり、その基礎となるデータサイエンスやビジネススキルをベースとし、就業に直結するサイバーセキュリティやシステム開発といった高度スキルまでを段階的・体系的に習得するカリキュラムを通じ、UI ターン希望者を含む、失業者、非正規雇用労働者、転職希望者等の地域への定着を図り、地域共創に寄与することを目的としておりますので、資格取得を成果とするものではありません。

(Q1 3)

このプログラムを修了すれば、必ず就職できるのか。

(A1 3)

受講者全員が就職できるようにハローワーク等関係機関等と連携しサポートする体制をとっておりますが、就職を保証するものではありません。受講者自身が、就職に向けての強い意志・意欲を持って受講し確実にスキルを身に付けるように努力していただくことが最も大事なことですので、最後まで粘り強く頑張ってくださいよう希望します。

(Q1 4)

アプレントイス科目の「サイバーセキュリティコース」と「システム開発コース」の違いはなにか。また、選択するコースによって就職に有利、不利はあるのか。

(A1 4)

「サイバーセキュリティコース」を選択した場合は、リモートワーク・企業内サイバーセキュリティを全社的に統括できる能力が、「システム開発コース」を選択した場合は、JIS 規格設計に基づきシステム開発全体を把握し、チームを牽引する能力が得られる授業内容としています。

「サイバーセキュリティコース」については、リモートワーク等の企業内の働き方の変化など雇用構造の転換が進展する中で、県内の各企業では高度にサイバーセキュリティに精通した担当者の配置が喫緊の課題となっていること、また、「システム開発コース」については、県内にはシステム開発系企業が多いこと等、いずれも県内企業のニーズが高いと考えられ、どちらを選択するかは受講者自身がよく考えて決定してください。ただし、受講者募集要項にも記載のとおり、人数制限の関係から希望に添えないこともありますので、ご承知おきください。